

令和5年10月23日

青森市政記者会 様

青森市教育委員会事務局指導課長

青森市立甲田中学校 外部講師による「命の授業」講演について

このことについて、下記のとおり、外部講師による「命の授業」を行いますので、取材・報道をお願いします。

記

- 1 日 時 令和5年10月30日（月） 13:30～15:00
- 2 場 所 青森市立甲田中学校 体育館
住所：青森市金沢3丁目11番1号
- 3 対 象 青森市立甲田中学校 全学年361名と保護者他
- 4 概 要 演 題「命の授業 ～ドリー^む夢メーカーと今を生きる」(別添資料参照)
ねらい 本校教育目標「命」「夢」「絆」の一つである、「命」を大切にして、夢をもって努力し続けることの大切さを学び、実践していこうとする態度を養う。また、保護者・地域の方にも講演を聞いていただき、命を大切にすることや、一生懸命努力する姿、誰かのために役に立ちたいという意欲を喚起する教育活動を行っていることを周知する。
- 5 その他 取材される場合は、事前に青森市立甲田中学校担当・教頭木村（017-776-7625）へ10月27日（金）16時までに直接お問合せください。

【問合せ先】

青森市教育委員会事務局指導課

担当：主任指導主事 福井

指導主事 古澤

電話：017-718-1869

— ドリー夢メーカーと今を生きる —

命の授業TM



2000回のご縁をいただきました。

フジテレビ
「奇跡体験!アンビリバボー」出演
腰痛男人的悪夢から復活までの軌跡

命の大切さ、まさか…が起きてからでは遅いです
今ある命の使い方 命の喜ぶ行動を考えて欲しい
常勝より常笑です

講演家 **腰塚 勇人**

首の骨を折り、命と向き合い、手足の動かない深刻な麻痺状態。

母は私の姿を見て泣きながら

「代わるものなら、代わってあげたい…」そして

「生きててくれてよかった…命があってよかった…」

私の命は私だけのものではなかったです…。

命を授け、守ってくれた人たち。「助けて」が言え、
生きる勇気を与えてくれた人たち。辛かったりハビリを
やる気にさせてくれた人たち。夢を与えてくれた人たち。

皆さん私のドリー夢メーカーです。

障がい者になっての社会復帰。できないものだらけの日々。

失ってから気づく、当たり前がどれだけ幸せだったか…。

でも、私にはドリー夢メーカーたちがいてくれる。

命と未来はある！

そして自分の命の使い方は自分で決められる。

命は自分と周りの人を喜ばせるために使う。

「5つの誓いを生きる」自分と約束しました。

★皆さんにとってのドリー夢メーカーは？

★皆さんにとっての当たり前とは？

★皆さんにとっての夢とは？

★皆さんにとっての命の喜ぶ行動とは？

オンライン講演会も
開催しています

活動開始から十二年で全国・海外で2000講演！
八〇万人の方に聴いていただくことが出来ました。



命の授業
(ダイヤモンド社)



感謝の授業
(PHP 研究所)



気もちの授業
(青春出版社)

- 幼小中高大学校・道徳 ● 人権 ● 保健 ● キャリア教育
- PTA・一般家庭教育 ● 教員 ● 医療 ● 福祉 ● 生命保険
- ローターリー ● ライオンズクラブ ● 青年会議所 ● 商工会議所
- 安全大会 ● 企業研修 ● 看護・医療・福祉専門学校研修 など

講演ジャンル

皆様から頂いたメッセージの一部をご紹介します

命の授業は全国の小中高校を始め、専門学校やPTA・教育委員会、そして子ども達を応援する自治体・青年会議所・企業様など、多くの団体様より講演のご依頼をいただいております。また、医療・看護・福祉関係や企業様の安全大会など、命の大切さと直面されている企業・団体様からもご依頼をいただき、講演を開催しております。

主催者様 東京都・中学校 校長先生

子供たちが真剣に聞き涙を流している姿に、来ていただけて本当に良かったと思います。心のうちを話してくれた子をしっかりとフォローしていきます。最近思いつめた様子で心配していた生徒が、「自殺しようと思っていたけれど、塚塚さんの話を聞いて生きようと思った」と教えてくれたそうです。教職員一同、塚塚先生に感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

主催者様 秋田県・PTA 連合会 会長様

塚塚先生が話す言葉は、常に涙としながらもどこか暖かく、どの講演でも参加した皆さんの心は一瞬で暖かれます。今回の東北ブロックの講演も同様で、いざ始めれば同時に塚塚ワールドへ引き込まれ、気が付けば涙が多くの方々の頬を伝っていました。

今、学校だけでなく家庭でも子供に虐待するケースが増え、残念ながらもなる方も後を絶ちません。しかし、そんな時こそ私は塚塚先生の講演を聞いてほしいと願います。「あなたは一人じゃない。必ず助けてくれる人がいるから。もっと親や教師を信じていいんだよ」と常に話して下さいませ。今回、東北各地から多くの方々にご参加いただき、全分科会の中で一番の満足度を得たのは塚塚先生の講演でした。



参加者様 大阪府・小学2年生

わざわざかながわから来ていただきありがとうございます。ぼくは命のじゅぎょうをずっと待っていました。命のじゅぎょうはただはなしているのじゃなくて未来をかえたり友だちとのきずなを深めてくれます。ぼくはそんな命のじゅぎょうが大好きです。

参加者様 茨城県・中学1年生

僕はあのような授業を初めて受けました。今までの授業は感動などはあまりありませんでしたが、今日受けた授業は感動以外にも沢山の何かを感じました。そして授業を終えた瞬間今までが一番命が大事だと思いました。「助けてって言ってもいいんだよ」という言葉は特に感動しました。僕も「助けて」って言おうと思いました。そして僕の周りでつらそうな友達がいたら今日受けた授業をもとにして声をかけたり、助けてあげようと思いました。帰ったら両親に話そうと思います。そしてこの授業をわすれないようにしようと思います。

参加者様 山梨県・保護者様

塚塚先生のお話で冒頭から涙があふれました。頸椎損傷からの機能回復は本当に大変なご苦労があったと思いますが、奇跡的に回復され、その実体験の中で感じられた「つひとつひの言葉の重み」が、心に響いたお話でした。子供たちの心にもきっと届いたことと思います。私自身も人を育てる仕事に携わっていますが、改めて「言葉」の重み、力を考えさせられる時間になりました。大切な人たちと一緒に前を向いて歩いていける存在でありたいと思います。



12年間で2000回を超える講演実績。そこには大切な人たちに本気で命の授業を聞かせたい！と思う2000人の大人や先生方がいてくださいます。私はその人たちと一緒に目の前の人たちの命を輝かせます。講演をご検討頂ければ幸いです。詳しい講演実績、メディア掲載資料等を準備しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

講演時間：60～90分程度

オンライン講演も可能です

塚塚 勇人（こしづか はやと）プロフィール

2002年3月、スキー事故で首の骨を折り、一瞬にして首から下が全く動かない状態に。この事故が私の人生と生き方を大きく変えました。



1965年、神奈川県生まれ。
元中学校体育教師・養護学校教員。
命の授業・講演家。

夢であった中学校体育教師になれ、子どもたちと夢を語り、夢を追いかける日々を過ごしていました。そんな私にある日、人生を大きく変える出来事が起こります。

2002年3月1日、35歳でした。スキー中に大転倒、首の骨を折り呼吸すら難しい状態に。4時間の手術の末、奇跡的に一命はとりとめたものの、全身が動かないという深刻な麻痺状態になり、あまりの絶望に心は深く沈み、自ずから命を絶とうと...

そんな私を救ってくれたのは家族、同僚の先生や生徒、保護者、病院のお医者さんや看護師さん、リハビリ担当の方、そして周りの人たちでした。そうした人たちの支えと励ましによって、再び私の心も動き出しました。

ケガからの一冊のメッセージは「一人でなんか一日たりとも生きていない」「自分の命は自分だけのものではない」

身体障がい者として学校現場へ復帰後、ケガの経験、学びを話す機会をいただき、感涙の中に今の半生から死を考えていたり、イジメによるSOSを出してくれた生徒さんたち。仕事、子育てに疲れ、命を絶とうとしていた大人たちの存在を知り、一人でも命を助けることができたなら...。生きる力になれたら...。教師を卒業し、命の授業に人生を賭けると決めました。

私が命の授業で伝えたいこと。「あなたは決して一人じゃない。助けてくれる人、力になってくれる人は必ずいる」そして「あなたの生命力はそんな弱くない！」

特に子どもたちに「大人を、先生を信じて頼って大丈夫！」これが伝えたくて命の授業を本気で伝え続けています。

出版・メディア出演

- 2010年5月 ダイヤモンド社より「命の授業」出版
- 2010年7月 フジテレビ系「奇跡体験アンビリバボー」出演
- 2012年2月 PHP研究所より「感謝の授業」出版
- 2012年9月 フジテレビ系「テレビ寺子屋」出演
- 2013年2月 月刊「教知」インタビュー記事掲載
- 2017年8月 フジテレビ系「テレビ寺子屋」出演
- 2021年5月 青春出版社より「気もちの授業」出版

講演会のご依頼やお問い合わせは、お電話またはホームページよりご連絡ください。

0463-73-6093 <https://inochi-jyugyo.com>

株式会社命の授業 / 〒259-1114 神奈川県伊勢原市高森 64-3 FAX: 0463-93-1332 E-mail: info@inochi-jyugyo.com



命の授業 HP